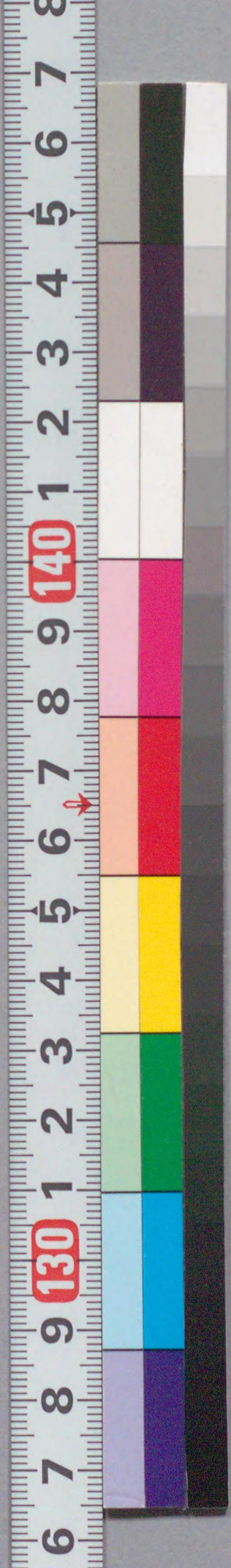


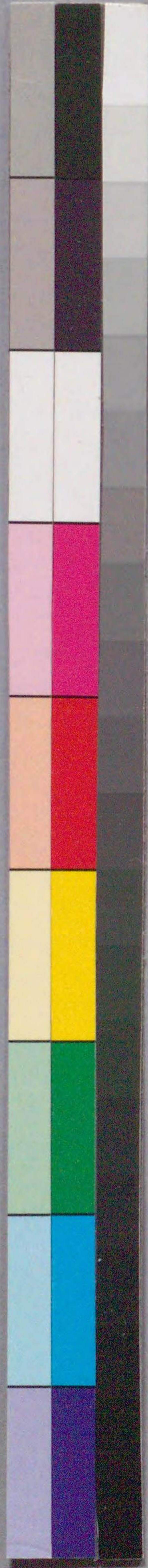


国立国会図書館 茶歌舞伎茶の目の傘 : 2巻 207-168



ガラス使用





207  
茶歌  
168

茶歌  
舞伎  
茶の  
目の  
傘

茶歌舞伎茶の目の傘

26. 9. 28  
26. 9. 2<sup>u</sup>

国立国会図書館 茶歌舞伎茶の目の傘 : 2巻 207-168

ガラス使用





天明七年

茶道乃年辰茶の目

全交作  
政美函  
庄傳在夜

序

茶道乃 千利休有而後 髯の伊休のり  
髯家成と古事附来歴と どのより入乃千家  
頭痛年 持一助一 卷ハ 煎乃出 一 服紗  
奴朝白千平ハ 馬法口取を止め茶の口取  
此布ハ 喜三ハ 秀作と茶全股 一 欲の候  
翰町乃 井戸茶碗 太きハ 大木の切口  
植込と 唯青と 青本のせ之 若の湯茶歌  
是ハ 一 版獻を 奉前 勝手法 已  
御免が 願小 而也

福茶乃や三月

題 芝全交







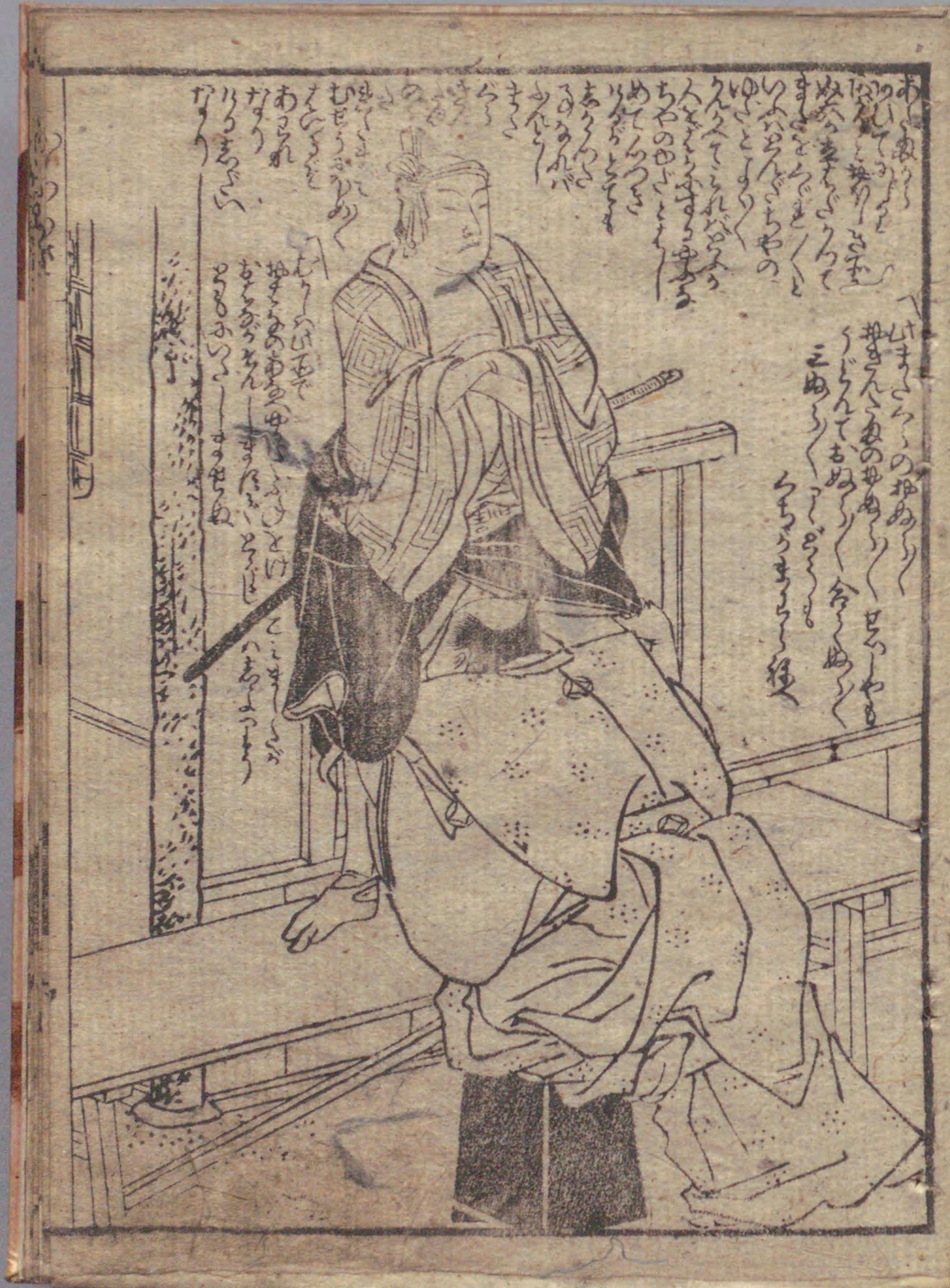


































207  
168

文久二年三月廿九日

板行園

ト



戲作者連中

芝全交戲作

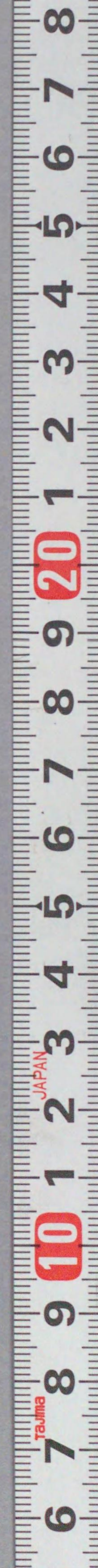
進上

ひねまきとえんしつらやらのねん  
 ままのよらぬ芝せんちうろを  
 とつさぢはまらぐんともつさぢハ  
 せんそくかあひまきちつこまを

これよりちんちんくさ  
 こまのたつまり  
 さよらよ

ちんちんま  
 せうとたがゆ  
 むんごらちち  
 まい

ちんちんま  
 系はととら  
 は入りのいれめ  
 はいんき希





207  
168

国立国会図書館 茶歌舞伎茶の目の傘 : 2巻 207-168

ガラス使用







国立国会図書館 茶歌舞伎茶の目の傘 : 2巻 207-168



ガラス使用

